

学校だより

NO. 75

H29. 1. 10(火)
(2016年度)



学校教育目標

心身ともに健康で、個性豊かな
実践力のある子どもの育成

めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

おめでとう、2017！今年のまとめをしっかりと・・・

新年がスタートし、今日から1月の授業・学校生活がスタートです。

1月は17日、2月は21日、3月は17日（6年生は13日）、計55日（6年生51日）と、数少ない登校日です。一日一日をより大切に過ごし、今の学年の学習や生活のまとめを先生の指導にしたがい、あるいは、自分なりに、しっかりとってほしいと願っています。

がんばれ、子どもたち！

保護者、地域のみなさま方、昨年度はご理解・ご支援を賜り、ほんとうにありがとうございました。今年も、昨年以上のご支援をよろしくお願いします。

お年玉のプレゼント代わりに、私が先日読んだ「子どもたちの15年後を見つめて」と題しての講演レジュメを掲載します。ご家庭で何かのプラスにしていいただければ幸いです。

今からお伝えする六つの躰(しつけ)は、子育てだけではなく、社員教育でも使っていただけたらと思います。

まず一つ目は、自分からあいさつをすること。当たり前のように思えますが、これができない人もけっこういるんですね。

親御さんから「どうやってあいさつさせればいいのか？」と聞かれることもありますが、答えは簡単です。親が子どもに「おはようございます」と言えただけです。

親からの「おはようございます」に対して子どもが確実に「おはようございます」と言えるようになったら、今度は「おはよう」と声をかけてみます。それに対して、「おはようございます」と返すことができるか。ここがとても大事なポイントです。これはあいさつだけではなく、目上の人に対する敬意の元になります。

二つ目のポイントは、靴をそろえることです。幼稚園や保育園の下駄箱を見れば、その園のけじめがあるかどうかはすぐ分かります。

三つ目は、よい姿勢で座ることです。良い姿勢というのは背もたれを絶対に使いません。

今日参加されている皆さんは、背もたれを使っていない方が多いですね。それって「もっと聞きたい」と思ってくださって、身体が前へ行っているからです。話がおもしろくないと姿勢は後ろに行きがちです。そこで、話がつまらなくても、背もたれを使わない姿勢をつかってみると、心が連動してやる気が出てくる場合があります。

四つ目は、「はい」の返事です。名前を呼ばれたら、「はいっ！」と返事をする。これは小学校に上がるまでに身につけたいですね。たかが返事ですが、返事一つでイメージが全く変わります。

「八田君」「はいっ！」

「八田君」「はい」

「八田君」「はい、はい」・・・

言い方一つで、印象が全然違いますよね。

裏面へ、続く



最高の子育ては

楽しみ輝く 大人の姿を見せること

ちです。
そこで、話がつまらなくても
背もたれを使わない姿勢をつ
くってみると、心が運動しや
る気が出てくることあります。
*
四つ目は、「はい」の返事です。名
前を呼ばれたら「はいっ」と返事
をする。これはぜひ小学校に上が



気持ちのいい返事を、0.2秒で返せるかどうかで、相手との関係がうまくいかかが決まるといっても過言ではありません。

ここまでの四つができるようになると、必ず約束を守る子どもになります。これが五つ目のポイントです。

最後の六つ目のポイントは、早寝早起き朝ごはんです。これだけは、家でお父さんとお母さんにしかできない躰です。

躰というのは、しつける側からすると、おもしろくも何ともありません。ですのやってみることが大事です。

子どもの能力は伸び始めるとどんどん勝手に伸びていきます。

だから先生と親の役目は、何も支援しなくても子ども自身が自分のできることをどんどんやれるような状況を一日も早く作って上げることです。

そして最高の子育ては、輝いている大人の姿を見せることです。

お母さんが家で「家事するの最高！」と言ったら、子どもは早くお母さんになりたいと思います。これは、お父さんの行動でも一緒です。

お仕事をされているお父さんやお母さんが家に帰ってきて、「ただいま！ 今日仕事がおもしろかったから、もう一回行ってきます——」なんて言ったら、子どもは「仕事ってそんなにおもしろいんだ」と思えるのです。

みなさんも今日からぜひ実践していただけたらと思います。

(9月に行われた「熊本チャリティ講演会」より、

みやざき中央新聞 2016年12月19日(月)号よりの転載)

いかがですか？

講演の一部ですので、保護者のみなさんが理解できないところや納得しがたいところも多々あるかもしれません。参考になる、こういうことはすでにやっている、これをやってみようかな、という思いでお読みいただければ幸いです。

今、12月に行った児童・保護者の学校評価を集計・分析中です。結果や今後の改善していくことについては、近々、この学校だよりにてお知らせしますが、児童評価の5の問い「朝のあいさつや帰りのあいさつはよくできていますか？」は、「はい 79%」「まあまあ 19%」「いいえ 2%」という結果になっています。7月の児童の評価より「はい」が5%低下した結果になりました。私たちの「しつけ」が少しゆるんできたのもあるでしょうし、子どもたちが学校に慣れ、気持ちが緩んできた部分もあるのでしょう。再度、1月よりしっかりと「どこでも、相手の立場を考えて、あいさつできる」ように指導していきたいと思っています。ご家庭でもご協力ください。

明野小HPが変わりました

年末に明野小のホームページを少しだけリニューアルしました。ホームページを管理していただいている市教育研究所に依頼して、今年度の子どもたちの活動をトップ画面に掲載してもらいました。5種類あり、時間とともにスライドショーで変わります。

「トピックス」と「ランチタイム」は、毎日更新をしています。ご家庭のPC、また、スマートフォンやタブレットで時折ご覧ください。ご家庭での家族の対話の種にしていたければ幸いです。

